

TPP交渉に関する 陳情書

一部採択

【陳情事項】

1. TPP交渉の内容を国民に開示すること
2. TPP交渉から撤退すること

【陳情者】

甘本朝倉民主商工会
会長 今福 勲 他3人

◆ ◆ ◆
平成25年末までの合意を目指したTPP交渉は合意に至らず、こうした中、政府は農産品5品目の関税撤廃の除外を決議し、さらに情報開示を約束し、国民的議論の重要性を強調してきました。

ところが政府は、交渉するに当たって結んだ秘密保持契約を理由に情報の公開を拒否しており、TPP交渉の内容の開示とTPP交渉からの脱退を求める意見書を国に提出することを求

められているものです。

まず、「TPP交渉の内容を国民に開示すること」については、国民の知る権利を尊重し、交渉内容を随時開示してもらいたいとの意見が出され、全員一致により「採択」すべきものと決しました。

次に、「TPP交渉から撤退すること」については、グローバル化のなかで、世界での日本の立場を考えるとしてTPP交渉からの撤退は難しく、慎重に考えるべきであるとの意見が出され、採決の結果、全員一致により「不採択」とすべきものと決しました。

以上の結論から、この陳情書を「一部採択」とし、同趣旨の意見書を国に提出しました。



陳情書 意見書

容器包装リサイクル法を改正し発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

この意見書は全会一致で可決され、国に対して意見書を提出しました。

【意見書要旨】

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律は、3Rの優先順位に反して、リサイクル優先に偏っている。このため、リユース容器が激減し、リサイクルに適さない容器包装が使われているのが実態である。自治体が税負担で

容器包装を分別収集しているため、事業者にはインセンティブが働かず、ごみを減らそうと努力している市民には不公平感が高まっている。

よって、一日も早い持続可能な社会への転換を図るため、以下のとおり、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを強く求める。

1. 容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、分別収集・選別保管

6月議会 会期日程（予定）

- | | |
|--------|--|
| 6月12日 | ○開会
○会期の決定
○会議録署名議員の指名
○議案等の上程
○提案理由の説明
(考案日) |
| 13・16日 | ○一般質問 |
| 17～19日 | ○議案等の質疑
○議案等の委員会付託
◇常任委員会
◇常任委員会
(事務整理日) |
| 20日 | ○議案等の審議
○諸般の報告
○閉会 |
| 23・24日 | |
| 25・26日 | |
| 27日 | |

6月定例会の会期日程は、6月6日（金）開催予定の議会運営委員会で変更になる場合があります。

人権擁護委員

江藤 博文 氏
(田中)

次の方の選出について
同意しました。

人事案件

の費用について製品価格への内部化を進めること。
2. レジ袋使用量を大幅に削減するため、有料化などの法制化について検討を進めること。

編集後記



初夏を迎えますが、この時期になると、一昨年、朝倉市を襲った九州北部豪雨等による甚大な災害を思い出されます。未だ傷跡が癒えないところもありますが、この機に家族や仲間や地域で防災について話してみませんか。

3月定例会では、市長の改選期であり、骨格予算の審議になりました。今後、新規の政策などを盛り込んだ本格予算となります。また、今年度は4月から消費税が3%引き上げられ、家計においても厳しくなります。

さらに私たち議員は、効率的な行政運営を求め続けていきます。

広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 村上百合子 |
| 副委員長 | 富田 栄一 |
| 委員 | 稲富 一實 |
| 委員 | 今福 勝義 |
| 委員 | 堀尾 俊浩 |
| 委員 | 鹿毛 哲也 |